

【概況】

- ・シャットネラは1測点の1層のみ少数の観察でした。
- ・コクロディニウムが5測点の表層でみられ、KA2において100細胞/mlを超えています。
- ・表層で鞭毛藻類が、10m層では珪藻が優占するといった地点が多く、その一方で鉛直的な海水の密度差はあまり大きくないという、変わった状況でした。

表：2026年7月6日 有害・有毒プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ・ オバータ	カレニア・ ミキモイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	At complex (旧) <i>A. tamarense</i> (旧称アレキサンドリ ウム・タマレンセ)	At complex (旧) <i>A. catenella</i> (旧称アレキサンドリ ウム・カテナラ)
KA23	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0	0	120	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA3	0	0	0	0	0	26	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA4	0	0.3	0	0.3	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0	8	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA6	0	0	0	0	0	7	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	11	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
HK1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
T3	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0

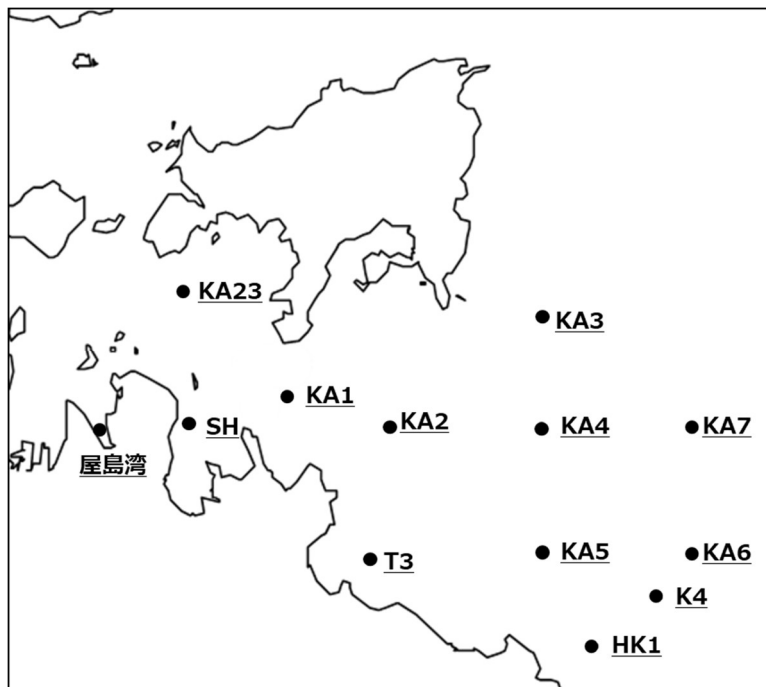
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:吉田・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課豊かな海づくり・漁港整備グループ(担当:澤田・秋山) 電話 087-832-3470

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL	10 細胞/mL
シャットネラ・マリーナ	(2 種の合計値)	(2 種の合計値)
シャットネラ・オバータ	1 細胞/mL	10 細胞/mL
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL